

国際ロータリー第2520地区岩手第1分区
 盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 20 (通算1993回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>E-Mail : jimukyoku@moriokahigashi-rc.com

会長 原田誠章 / 幹事 佐藤百合子
 事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号
 盛岡グランドホテル内
 TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391
 例会場 盛岡グランドホテル
 TEL 019-625-2111
 例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30
 但し、第3月曜日は(18:30～)会場が変更になる場合があります。

会長挨拶 原田誠章



皆さん こんにちは。
 先週、盛岡市内会長幹事会において第1分区小山田次期ガバナー補佐より次年度の取り組みについてお話がありました。2025-2026ガバナー公式訪問日程のお願いがありました。地区補助金は第一分区で申請すれば補助金の規模も事業も大きくなり有効活用できる。I・Mで纏められないか?という提案がありました。

また地区賦課金は減額の方で見直しをしたい。地区組織の改編を近日中に提示したいというお話がありました。地区の様々な問題を解決したいという次期ガバナーの熱意をお話しされました。今年度第一分区I・Mは日程が決定いたしました。

日程 2025年5月24日(土)
 会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
 テーマ仮称
 「多様性・公平さ・インクルージョン (DEI)」

本日は宜しくお願い致します。

次回プログラム

12月9日(月) 昼例会 クラブ協議会
 12月15日(日) 18:00 クリスマス家族会
 12月16日(月) 振替休会
 12月23日(月) 特別休会
 12月30日(月) 晦日 休会



2024-2025年度テーマ



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック
 第2520地区ガバナー 佐藤剛(水沢RC)

昼例会

司会：瀧澤慶太郎
 日時：2024.12.2(月) 12:30
 会場：盛岡グランドホテル
 君が代
 ロータリーソング
 奉仕の理想



◇幹事報告 佐藤百合子

12月ロータリーレート 1ドル150円

ロータリーの友11月号

月信12月号 オンラインで送付

◇スマイル報告 湯下道雄

原田誠章君

本日も宜しくお祈りします。

佐藤百合子君

今年も残すところ1か月切りました。

皆様いろいろありがとうございました。

湯下道雄君 おめでとうございます。

ご夫人真由美様誕生日 11月30日

50ウン歳でした。

柴田茂君

本日も宜しくお祈りします。

木村昭仁君

冬の空気感が好きです！

千葉伸行君

本日も宜しくお祈りします。

◇出席報告 瀧澤慶太郎

会員数24名 出席数22名 欠席数2名 出席率91%

個人寄付金R財団 柴田 原田・米山 柴田 原田

メイクアップ

11/25行動計画リーダー会議 千葉

11/27市内会長幹事会 原田 佐藤(百)

12/1加藤GE国際会議・菅原PG規定審議会出席壮行会

柴田 原田 瀧澤

11/30一関rc30周年・12/1G補佐会議・12/7RYLA・

12/6盛岡rc 柴田

第6回理事会 11:30 盛岡グランドホテル

1. 報告事項 市内会長幹事会報告
2. プログラム 予定通り
3. 会員増強 本宿将大氏 12月より入会

クラブ総会

進行 SAA瀧澤慶太郎

各委員長より今年度上期活動状況発表

クラブ管理運営 湯下道雄

会員増強 木村昭仁

公共イメージ 北島美栄子

奉仕プロジェクト 工藤嘉

ロータリー財団 浦田秀夫



【核廃絶に取り組む元ロータリー交換留学生】

豪国会や国連でのキャリアを経て核廃絶キャンペーン

(ICAN) 事務局長となった元ロータリー青少年交換学生が核廃絶について語る寄稿者：メリッサ・パーク、元ロータリー青少年交換学生、元オーストラリア国際開発大臣、核兵器廃絶国際キャンペーン [ICAN] 事務局長

オーストラリア南西部の小さな町のはずれにあるリンゴ畑で育ち、飛行機に乗るどころか、州外にも出たことなかった私にとって、ロータリー交換留学生としてのフランス留学は大冒険でした。そこで初めての雪も体験し、ホストファミリーの下で異国の生活と文化について多くのことを学びました。

オーストラリアに帰国して弁護士として数年間働いた後、国連の国際法弁護士となり、ニューヨーク、コンゴ、ガザ、レバノンなどに住みました。ペイルートの国連独立国際調査委員会では主席補佐官代理と法律アドバイザーを務め、ラフィーク・ハリリー元レバノン首相の暗殺やレバノンでのほかのテロ事件の調査を担当しました。いろいろな国や文化での仕事に挑戦し、国際公務員となって世界の恵まれない人を支援しようという気持ちが生まれたのは、ロータリー青少年交換学生としての経験があったからだと思います。私は仕事を通じて、戦争が人びとに与えるインパクトや、家を追われ、愛するものを失った人たちの悲劇を目の当たりにしてきました。

妹ジョージナも、私の影響を受けてロータリー青少年交換学生となり、日本に留学しました。彼女は現在、国際的に知られた野生動物の写真家として活躍しています。国連で長年の経験を積んだ後、オーストラリアに戻って国会議員を3期(9年)を務め、国際開発大臣に任命されました。ここでもロータリー青少年交換での経験が、公益に奉仕することへの意欲につながりました。私が国会議員だった2011年、オーストラリア政府はポリオ根絶推進活動(GPEI)に5,000万ドルを寄付しました。2022年10月現在、オーストラリアはポリオ根絶に1億5,500万ドル以上を寄付しています。

議員の任期を終えた私は、4年間、国連人権理事会のイエメン問題グループのメンバーを務めました。また、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)オーストラリアの親善大使となりました。オーストラリアでは1950年代と60年代に英国の核兵器実験が行われたほか、フランスや米国も太平洋で核実験を行いました。こうした実験の犠牲になったのは、特にオーストラリアの先住民族の人たちでした。2017年、ICANは、核兵器の人道的影響を広め伝え、122カ国が支持した新しい核兵器禁止条約の国連総会による採択を後押ししたことによる貢献が認められ、ノーベル平和賞を受賞しました。世界では、これまでに2,000回以上の核兵器実験が行われています。今日の核兵器は、1945年に広島と長崎に投下された原爆の数倍の威力があります。核兵器は、人類を抹消させる威力のある兵器として人間が作った唯一の兵器です。2022年の『Nature Food』誌に掲載された記事で、科学者たちは、世界に存在する核兵器のわずか2%を使用した「限定的な」核戦争でさえ、1億2,000万人の直接的な死をもたらす、世界的な気候問題と農業崩壊を引き起こし、核の冬によってさらに少なくとも20億人が餓死するとしています。本格的な核戦争は、人類文明とそのほかの多くの生命体の消滅を意味します。広島と長崎から79年経った今、私たちが核の議論をしながらも暮らしているのは、核の管理がよくできているからでも、核の抑止力が効いているからでもありません。過去数十年に事故やニアミスが何度も起きていることから、核戦争への発展を免れてきたのは、単に幸運だったからにすぎません。アントニオ・グテーレス国連事務総長が2022年に述べたように、「運は戦略ではない」のです。グテーレス国連事務総長が昨年7月に発表した「平和のための新たなアジェンダ」は、核兵器廃絶を第一に掲げています。世界的な緊張が高まっている今だからこそ、国際社会がこれらの大量破壊兵器の廃絶に向けて行動を起こすことが重要です。

ロータリー財団ニュース 12月より抜粋